



NEWS RELEASE

2013年3月10日

報道関係者各位

ポリネシア・カルチャー・センター日本地区販売総代理店

〒104-0045 東京都中央区築地7-10-2

築地小川ビル2階



ハワイの大自然を五感で感じる「ハワイアン・ジャーニー」 ポリネシア・カルチャー・センターの「フキラウ・シアター」で上映開始

オアフ島ライエで、開園50周年を迎えるポリネシア・カルチャー・センター（PCC）に、今年3月、まったく新しく生まれ変わった4D体験ができる映画館「フキラウ・シアター」がグランド・オープンし、ここでしか観られない短編映画「ハワイアン・ジャーニー」を上映します。

短編映画「ハワイアン・ジャーニー」はほぼ全ての撮影をハワイ内で行い、火山の噴火やナ・パリ・コーストの深い溪谷、懸谷、絶壁、滝などをヘリコプターから空撮しました。この映画の脚本はPCCのイブニングショー「HĀ: プレス・オブ・ライフ」の脚本も手がけたデイヴィッド・T・ワーナー博士、監督はウォルト・ディズニー・イメージニアリングの前VPで現在アポジー・アトラクションに在籍するパトリック・R・スキャンロン、デザインはルーカス・アート・エンターテインメントの全デザイン・ディレクターでマイケル・リー・デザインのマイク・リー、撮影はアカデミー賞受賞作もあるリード・P・スムート、そして作曲はエミー賞受賞経験のあるサム・カードン、ナレーションはテレビドラマ「ハワイ5-O」（オリジナル）にも出演していた俳優／エンターテナー アル・ハリントンが担当しています。

「ハワイアン・ジャーニー」を上映するフキラウ・シアターも、スキャンロンとリーがタッグを組み、完全に新しいものに造り替えました。PCCの園内にまったく新しい風景を加える「火山」をイメージしたダイナミックな外観に生まれ変わりました。クリスティの4Kデジタル・プロジェクショ

ン・システムを使った現在入手可能な中でもっとも高解像度で明るく高品質な映像が、幅 2.5 m × 高さ 12.2 m のスクリーンに映し出されます。座席のうち 250 席は、ステレオスピーカーが埋め込まれ、映像や音楽に合わせて動くなどの特殊効果技術が備えられています。また、通常の座席も 200 席用意しています。当シアターへはブラックライトが設置された溶岩トンネルを通り抜けて入ります。出る際は、別の溶岩トンネルを抜けて、デザインし直されたギフトショップ「ザ・ウル：ツリー・オブ・ライフ」へつながっています。当シアターは、「ハワイアン・ジャーニー」を上演している時間以外は、会議やプレゼンテーション等に利用できます。

ポリネシア・カルチャー・センターについて

1963年に設立されたポリネシア・カルチャー・センターはオアフ島北部の町ライエにあり、ワイキキから約70分の場所に位置します。当センターは5万坪の敷地にわたり、ポリネシアを代表する6つの地域——サモア、アオテアロア（ニュージーランド）、フィジー、ハワイ、タヒチ、トンガー——の伝統文化や遊び、ゲームなどを実際に体験でき、マーケサスとイースター島の展示が観られるテーマパークです。お昼のカヌーショーや100余名のキャストによるイブニングショー「HA：プレス・オブ・ライフ」では、ポリネシアの島々独特の歌やダンスを鑑賞できます。実際に体験できるアクティビティ満載の当センターでは、初めてハワイを訪れる方はもちろん、フラをされている方、ハワイ好きのリピーター、子供から大人まで、楽しい一日を過ごせます。

所在地： 55-370 Kamehameha highway, Laie, Hawaii 96762

開園時間： 午後12時～21時まで

休園日： 毎週日曜日、感謝祭（11月第4木曜日）、クリスマス

一般からの予約・問合せ

ハワイ： 電話 808-924-1861（日本語可）

URL <http://www.polynesia.com/japan/>

日本国内： 電話 0120-080165

URL <http://www.pacificresorts.com/hawaii/polynesia/>

当ニュースリリースに関するお問合せ

ポリネシア・カルチャー・センター日本地区販売総代理店

株式会社パシフィックリゾート 児玉千恵

電話 03-3544-5020 Eメール kodama@pacificresorts.com



火山をイメージして造られたフキラウ・シアターの外観



溶岩トンネルを通り抜けて入ります